

一般社団法人 日本医学物理学会
平成 25 (2013) 年度 第 2 回理事会議事録 (抄)

日時:平成 25(2013)年 6 月 22 日(土)12:15-17:00

場所:フクラシア品川 C・D室

出席者:遠藤・松本・新保・櫻井・荒木・小口・齋藤・榮・西尾・福田(理事)、福村(監事)

欠席者:奥村・門前(理事)、金井(監事)

参会者:和田・赤羽・尾川・福士(委員長)、豊福(大会長)、遠藤暁(JARR・JSMP 担当幹事)、乳井(総務委員)

議題:

1. 前回議事録の確認
2. 新入会員・退会者の承認(決議)
3. 平成 25 年度修正予算の承認(決議)
4. 研究課題援助の採択(決議)
5. 代議員選挙、理事・監事選挙の日程について
6. 選挙管理委員の指名(決議)
7. 第 106、107、108、109 回大会の準備状況について
8. 研究成果報告奨励金(ICMP2013)の応募状況
9. 「医学物理」発刊の状況
10. 委員会報告
11. 医学物理士認定機構の現状について
12. その他

資料:議案書冊子

席上配布:資料 7-3(105 回大会資料 1 点)、資料 10-1 一部差替え分

議事

出席者・参会者、定足数確認の後、会長が議長に就き、開会を宣言し議事に入った。

1. 前回議事録の確認

資料 1-1 により前回理事会(4月11日)分を、また資料 1-2 により総会(4月13日)の議事録案を通読・確認し、原案通り承認した。

2. 新入会員・退会者の承認

資料 2 に基づき、庶務理事より4月1日－5月31日の入退会・資格変更が報告された。審議の結果、原案通り承認した。これにより5月末時点の会員総数は2,066名となった。また併せて、今回の承認の値を以て本年度施行の代議員・役員候補選挙の基礎数値とすることを確認した。

3. 平成 25 年度予算修正の承認

総会において学生会費据置の修正提案を採用し、その結果予算再編と執行が理事会に付託されたことにより、再編した予算案である資料 3 が会長より提案された。

提示の予算案は学生会費据置で同部分(会費収入)を年間 280,000 円としたのみで、他の収支については増減の措置をせず、従って年間 70,000 円(原案の収入との差額)の収入＝収益減とするものである。

審議の結果これを承認した。

4. 研究課題援助の採択

資料 4 に基づき、庶務理事より審査の経緯・結果につき報告がなされた。

出席理事より、学会が期待する目的を満たすような応募課題がなく、評価が困難であったという指摘があった。会長から、その指摘は多くの審査員が感じたところと思われるとの表明あり、この際研究課題援助のあり方について議論を深めることとした。

これを受けて他の出席理事より、ある程度の審査基準明確化が必要ではないかとの指摘あり。他いくつか発言あり、会長が審査基準の設定は継続的に議論し、次回募集前に再度確認することとした。

なお今次申請 8 件については、審査で 1 位となった課題を採択し、コメントを付加の上採択することとした。他の 7 件は不採択とすることとした。ただし研究者番号のある不採択課題は、科研費申請然るべしとのコメントを付けることとした。

5. 代議員選挙、理事・監事選挙の日程について

資料 5 に基づき、会長より本年度施行の代議員・役員候補選挙(及び役員選挙)の日程案が示された。

審議の結果この日程を承認し、代議員定数を本日承認の正会員数 1,941 名を基準として、98 名とすることを確認した。

出席の委員長より、選挙後の年度は委員会の始動が遅くなるという不便についての指摘あり。会長より、この点は法人法の要請からなる制度設計上やむを得ぬところで、できる範囲のことをやる外なしと回答がなされた。なお他学会の例を徴するなどして、然るべきありようを模索することとした。

6. 選挙管理委員の指名

資料 6 に基づき、会長より本年度施行の代議員・役員候補選挙(及び役員選挙)に当たる選挙管理委員ならびに顧問の候補が挙げられた。慎重審議の結果、原案通り承認した。

7. 第 106、107、108、109 回大会の準備状況について

<105 回大会>

会長より、予定議事にとり漏らしたためここで 105 回大会の報告を求める旨の発言あり、席上配布の資料を 7-3 とし、それに基づき第 105 回大会長より同大会の結果が報告された。発言冒頭に支援諸方面に対する謝辞があり、これに対して出席者より拍手が贈られた。

今次大会では国際化を前面に押し出し、それについては初期の目的を達したことが報告された(共同他学会よりも英語発表率が格段に高かった)。

なお大会長より、向後の大会で「海外からの発表・参加希望」に弾みがつくであろうことが指摘された。

<106 回大会>

資料 7-1 に基づき、第 106 回大会長より準備状況が報告された。

会長より、JBMP の 2 講習会の講師に対して、JJMP への寄稿を依頼することを、JJMP 編集委員会と協働で然るべきように計らうべきことが指摘された。

なお、利益相反の宣言については、今大会では義務ではなく推奨にすることとした。

<107 回大会>

資料 7-2 に基づき、第 107 回大会長より準備状況が報告された。現段階で

- a. 抄録の掲載広告増強
- b. 利益相反に関する表示の義務化
- c. 大会中の医学物理士認定・単位に関する問合せ対応

などが課題として挙がっていることが報告された。a については必要によっては理事会各位の協力を仰ぐであろうことが表明され、b については今秋にも制定される学会の規程に準拠することとした。また c については JBMP と協議することとした。

8. 研究成果報告奨励金(ICMP2013)の応募状況

資料 8 に基づき、国際交流委員長より、本件募集期間が ICMP の演題採択通知が遅れたことにより延長になっていることが報告された。

9. 「医学物理」発刊の状況

資料 9 に基づき、編集担当理事より JJMP 刊行状況が報告された。会長より、予定より遅れ気味であるので、事業計画通り、平成 25 年度中に Vol.33 No.4 まで刊行するよう努めるべきことが指摘された。また、会長より、誌面充実のため特別企画を年 2 件ほど設定あるべきことが指摘された。

10. 委員会報告について

<計測委員会>

資料 10-1 に基づき、計測委員長より活動報告がなされた。

7月発信予定の「評価線量の変化確認のお願い」の扱いについては委員長に一任することとした。なお本状の確定を受けて、当学会ではホームページに掲載して周知を図るほか、連名の各団体で然るべき手段で周知を図ることを予定していることが報告され、これを承認した。

<教育委員会>

資料10-2に基づき、教育委員長より活動報告がなされた。

サマーセミナーについては、参加申込完了者が115名まで達したことが報告された。

JBMPのコース認定状況の一覧が提示された。

<RPT誌編集委員会>

資料10-4に基づき、担当理事より活動状況が報告された。

同誌編集委員会で宿題があることが披露され、そのうち共編団体であるJSRT・JSMP両属会員への二重送達を解消すべきことが挙げられた。この問題の調査のため、ひとまず両学会の会員重複状況を把握するため、会員情報の必要部分に限り照合することを可とした。

<広報委員会>

広報委員長より口頭で、学会ホームページのリニューアル版が5月13日に公開になった旨が報告された。

<防護委員会>

防護委員長より口頭で、昨年8月公開の「粒子線治療施設における放射化物の取扱いに関するガイドライン」の改訂版について調整中である旨が報告された。内容固まり次第適宜理事会に諮る旨が表明された。

<国際交流委員会>

国際交流委員長より口頭で、AFOMPの新体制が始動しつつある旨が報告された。同連盟の役職等を承引の際は国際交流委員長に一報あるべく要請がなされた。

<教科書編集 ad hoc 委員会>

教科書編集 ad hoc 委員長より、秋の理事会では見本組みを披露できる程度に進行する分冊もある見込であることが報告された。

<QA/QC委員会>

資料10-3に基づき、QA/QC委員長より活動報告がなされた。「粒子線治療QA/QCガイドライン」の監修については作業完了。発行側の確定待ちの由。PDFで公表、必要によっては有料で冊子配布などを検討する。放射線治療に関わるガイドラインで、臨床・診療報酬に直接関わるものはJASTRO中心で作成する。物理技術に関する物はJSMPで作成し、関連団体と連名で公表することとなった。また、学会内他委員会と連動して作業を進めてゆくべき旨が表明された。

11. 医学物理士認定機構の現状について

JBMP 庶務理事を兼ねる理事より、同機構の組織一覧が披露された。診断・核医学カリキュラム委員会、国内学会対策委員会が新設され、体制強化を図っている由。

会長より物理士が診療報酬の文書に記載され、また数が著しく増加していることから、JBMPの社会的役割が重要性を増していることがいえる。JSMPとしてもJBMPの活動を全面的に支援していくと表明された。第105回大会長より、大会参加者数の増加は物理士増(ポイントを要する人の増)によるところが大であると考えざるを得ないことが指摘された。

12. その他

<JARR>

JARR の JSMP 担当幹事である本理事会参会会員より JARR の活動状況が披露された。アジアの包括機構である AARR の役員の紹介等がなされた。特に ICRR2015 について、既に何回か当学会理事会に報告の通り、引き続き理解と支援の依頼がなされた。JARR は JSMP も加盟団体であり、未加盟の JRS の誘引を行っている旨が報告された。

<放医研ダイアログセミナー>

資料 12-2 に基づき、会長より標記行事に JSMP も関与すべき状況である旨が報告された。学会を代表して、会長が登壇することが報告された。

<利益相反等の規程>

副会長より、目下策定作業を進めている利益相反等に関する規程に関する報告がなされた。関連学会の例を見ると、利益相反の表明に限定して制定している学会もあり、また倫理面に至る包括的な規程を設けている学会もあり、当学会のとるべき方向について討論した。

結果、利益相反についてはより具体的に規定し、臨床研究に関する事項は国の指針に準じ、研究不正についてもある程度言及のあるものとして取りまとめることとした。本件はなお次回理事会にて審議することとした。

<関連団体情報>

会長より JRC 情報として、医総会 2015 が京都で開催されることとなり、展示に関する委員推挙等の協力を求められる見込みが伝えられた。

さらに会長・副会長より、全国診療放射線技師教育施設協議会の際、協議会会員である参加校代表との意見交換の機会を設けることが、JSRT 代表理事より打診があった旨が伝えられた。

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 17:00 に閉会を宣言して散会した。

議長 会長 _____ ㊟

署名人 副会長 _____ ㊟

署名人 監事 _____ ㊟